



医療法人社団

らぼーる新潟



ゆきよしクリニック 短時間通所リハビリテーション

半日型
送迎あり

リハビリ
専門職
常勤

あなたの
「やりたい」
を応援！

段階的な
リハビリ



●営業時間

月曜日～金曜日（土・日・祝祭日・年末年始・お盆はお休みさせていただきます）

午前 10:00～11:30 定員 15名

午後 前半 13:00～14:15 定員 15名

（二部制） 後半 14:15～15:30 定員 15名

●対象となる方（移動・排泄自立されている方）

午前 要支援・要介護1

午後 要支援・要介護1～2（介護度の高い方はご相談ください）

●送迎エリア

新潟市江南区・東区・中央区の一部

※ご自身での来所やご家族の送迎が可能な場合は地域を問いません

午前の通所リハビリ

その人の「やりたい」を応援する応用的なプログラム

特徴

- ・対象：要支援 ※要介護の方はご相談下さい
- ・主体性を持って自己選択するプログラム
- ・理学療法士、作業療法士による
自律した生活のためのアドバイス
- ・言語聴覚士による集団での口腔体操

午前の流れ(例)

時間	内容
10:05	集団体操
10:20	運動メニュー
10:35	個別プログラム
10:50	自主トレ・脳トレ
11:05	足こぎマシンなど
11:20	記録・水分摂取

プログラム内容

個別プログラム

目標達成のための応用的なプログラムを行います



外出を想定した歩行練習



生活環境の確認

集団体操

全身運動と、言語聴覚士が行う口腔体操があります



運動メニュー

複数の運動メニューの中から自分に合った運動を選択します

ストレッチ



筋トシ



肩痛予防



腰痛予防



膝痛予防



転倒予防



口腔体操



 **言語聴覚士による小集団の体操が効果的です！**

～健口介護予防プロジェクト～

- 【目的】 * 口腔機能の低下を防止し栄養改善を図ります。
「高次脳機能」「身体機能（呼吸機能も含む）」「咀嚼機能」「栄養状態」
* 認知機能の低下を予防します。

- 対象の方 ムセる、口が渇く、会話が減っている、声が小さくなっている、脳梗塞の既往がある、失語症状がある
体重が減少してきているなど機能低下がある方又は予防をしていきたい方。

□口腔機能



栄養

運動機能

午後の通所リハビリ

状態に合わせてステップアップしていくプログラム

特徴

- ・対象：要支援・要介護1～3
- ・その方の目標に合わせた段階的なプログラム
- ・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士によるその方に合わせた個別リハビリテーション

午後の流れ(例)

時間	内容	時間	内容
13:00	集団運動	14:15	器械での運動
13:15	運動メニュー	14:30	運動メニュー
13:30	個別リハビリ	14:45	個別リハビリ
13:45	器械での運動	15:00	集団運動
14:00	水分摂取	15:15	水分摂取
14:15	送迎	15:30	送迎

プログラム内容

個別リハビリ



バランス練習



言語聴覚士による言語訓練

その人に合ったプログラムを組み合せていきます



マシンメニュー

身体の状態に合わせてマシンを選択いたします。

運動メニュー ※内容は午前と同様

複数の運動メニューの中から自分に合った運動を選択します

自主トレーニング

ご自宅でも運動が行えるようにその方に合った運動を指導します

集団体操

立って行う体操や、座ったまま行える体操を実施します

言語聴覚士によるリハビリテーション：月～金曜の毎日

下記の症状がある方々にご相談ください。

①言語障害

- ・言葉が出てこない
- ・話が理解できない

②発話障害

- ・呂律が回らない
- ・声が小さい

③嚥下障害

- ・ムセることがある
- ・誤嚥性肺炎を発症したことがある

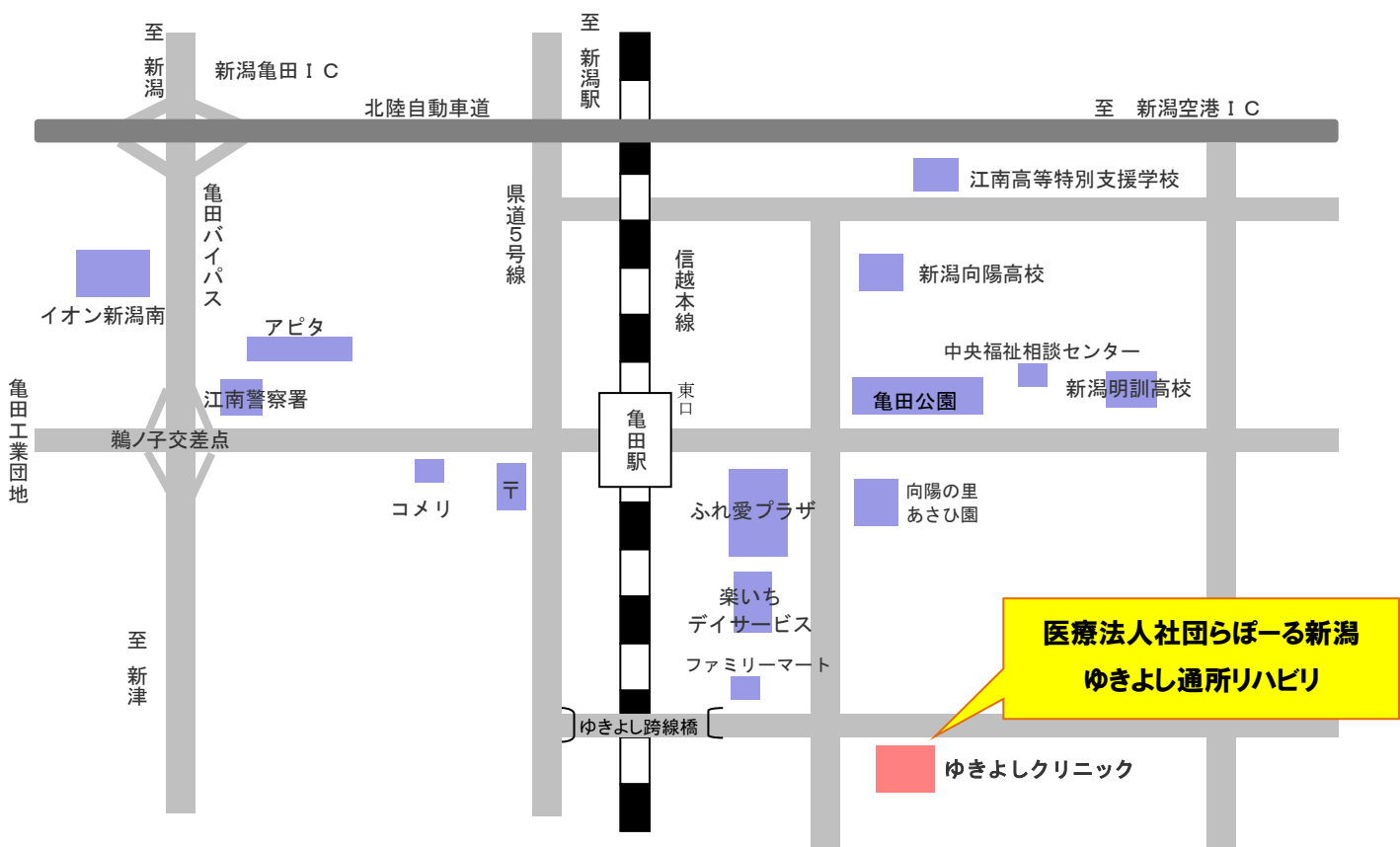
④低栄養

- ・体重が徐々に減ってきた

通所リハビリについてのご質問

見学 & 体験もお待ちしています！！

アクセスマップ



お問い合わせ

ゆきよしクリニック 短時間通所リハビリテーション

新潟市江南区稲葉 1-4-3

TEL 025-382-3845 (担当: 野瀬山)

ゆきよし通所リハビリテーションについて

当事業所では医療から介護へのシームレスな連携を図るため、退院直後からの支援を積極的に行いたいと考えております。

(1) 当事業所の特徴

①PT、OT、STによる 専門的なリハビリ

リハビリスタッフのほとんどが病院勤務の経験者ですそのため病院でのリハビリの内容を踏まえながら、スムーズに生活期リハビリへ移行できるよう支援致します。

②退院後の 在宅生活を支援

居宅訪問などを通じて自宅環境の調整や福祉用具の選定、必要な動作練習などを行い、安心して在宅生活を送れるようフォロー致します。

③活動・参加に繋げる アプローチ

残存機能を活かして自律した生活が送れるよう、他職種に評価内容を伝達していきます。また地域のサークルへの参加、買い物など、社会参加を目指した支援も行っています。

(2) ケアマネジャー様をお願いしたいこと

退院直後の機能低下を防止するためには、退院後できるだけ早期に訪問・通所リハビリを導入することが効果的と言われております。しかし現在、退院後数週間～数ヶ月経過し機能低下がみられて、ようやく通所リハビリが開始となる方が多くみられています。そこでリハビリの継続が必要な方に関しては、退院直後よりサービスが開始できるようご配慮をお願い致します。

